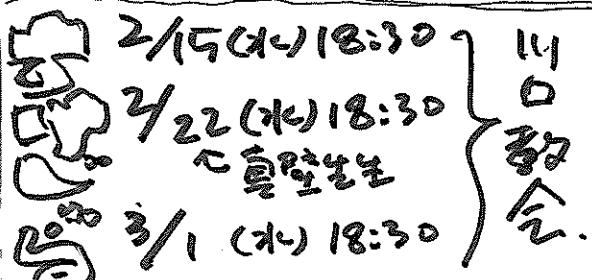


# Freude

vol. 16-13 2023. 2. 8 . wed



総会（会計報告、団規約しおり改定、今期収支予想、委員承認）準備中。  
先週で団員募集もいったん区切りました。（これからは「進んでいることを理解して自習も含めて頑張ってくださいるなら！」先生に相談したうえで入団していただこうと思います）

団員数 2/7 時点	S	A	T	B	計	備考
継続	16	12	7	4	39	先週の 40 は足し算マチガイ
新入団 & 復帰	7	4	1	4	16	先週の 15 は足し算マチガイ。ソプラノ新人さん一人辞退・一人 2/1 に入団
合計	23	16	8	8	55	登録者合計。

今回の人数がだいたい見えたので、今期の収支計画を含めて、みなさんにご説明する「総会」を開催したいと思います。総会では、運営委員の承認、会計報告、今期収支予想、のほか今回は、団規約としおりの改定議題もあります。総会は練習時間を少しいただいて開催します。ただ、これまで日曜練習のあとに十分な時間を取りて開催していましたが、今期より、基本的に水曜練習のみとしましたので時間をあまりとることはできません。練習時間をあまり削らなくて済むよう、団員のみなさんには事前に資料をお配りし、よく読んでいただいて質問等は事前に団長に出してくださいなどして、できるだけ総会に時間をかけずに（できれば 15 分程度で）済むようにしたいと思います。

- ・総会開催日は、先生と相談して決定します。資料は開催の前週に配ります。
- ・総会の議案は次の通りです。

①運営委員承認

団長/吉田泉 広報/栗野直子 総務/杉田光治 会計/辻井潤（在・福井） 監査/山下芳郎

パートマネジャー S/河野ゆかり・川端多栄子 A/吉田泉 T/辻井潤・杉田光治 B/山下芳郎

②会計報告（2022 年 10 月 20 日公演分） ③今期収支計画 ④規約としおりの内容改定 ⑤その他

※前回公演は 2022 年 3 月から練習開始しましたが、22 年 2 月公演の大幅な赤字（オミクロン株猛威）に加え 10 月公演に向けての団員確保も伸びず大幅赤字が見込まれました。その上これまでの赤字補填が重なったことにより団貯金残高が払底。今後も団員数のコロナ前までの回復が見込めないことから、5 月～7 月にわたり、開催方法、および今後について全団員で話し合い・アンケートを行いました。その結果、以下の方針を決めました。

- ・2022 年 10 月公演は、団貯金を全部使って、不足分は団員の協力費によって成立させる。  
ただし、これまでの「チケット前売り価格」はやめて、チラシ価格のみとする（実質 500 円値上げ）
- ・こんごの活動は、コロナ禍前の団員復帰を前提とせず、40 人前後で可能な運営をベースとする。
  - ①大阪フロイデ合唱団の演奏会姿勢（オーケストラと共に演。練習に密に取り組み質の高い音楽を作る。  
ここでうたいたい、この演奏会なら行ってみたい、クラシックの響きを創れるホール）を維持。
  - ②赤字が出ない体制（③④に具体内容）に立て直す。ただしやむを得ず支出超過が見込まれる場合は（これまでには貯金残高補填だったが）団員に、赤字予想を報告し、一律の協力金を集め、収支成立させることとする。
  - ③演奏会は 1 年に 1 回とする。（これまで 8 ヶ月に 1 回）  
チケット料金はいずみホールの一般的な額に抑えたいので、700 席程度は目指す必要がある。  
演奏会 2 週間前程度の時点で収支状況を判断し、支出超過が想定される場合は、協力費を集め。
  - ④練習のかたちと団費を見直し、日常収支に赤が出ないようにする。
    - ・団費 6000 円/月とする。（これまで 5000 円）
    - ・練習は水曜日。会場は川口基督教会（これまで、日曜練習を月一回行っていた）
    - ・基本的に指導は二人体制（指揮者と、発声指導またはピアニスト）
- ただし演奏会のために、練習開始時に計画した練習に加えて特別練習（日曜練習や、三人指導、広い会場等）が必要と指揮者が判断した場合は、練習を確保し、団費収入で賄えない分については、団員より協力金を集める。

2/1a 緒題 + モ.

Requiem a Agnus Dei (P68~71) の譜面分析

## 【名前】 Agnus Dei qui tollis peccata mundi

二二:2.3.

×イ=ア 四音は「イ」のみ

「グ」は有声子音の「ズ」

「ル」は無声子音の「リ」と取る。

dona eis requiem

sempiternam.

♪ Agnus Dei, a qui tollis peccata mundi [神の小羊、世界を除むる主よ]

[fa e=3] Agnus Dei qui tollis peccata mundi .

Passai (eop / Pitts rza. オルレイン P.) dona eis requiem

モーツアルト

「彼女はやがておとづれをもつて」

この2行モーツアルトではどうぞ!

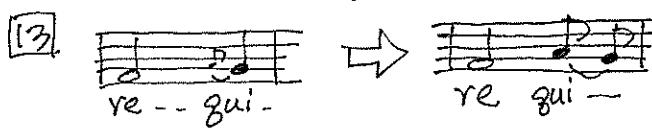
Passai フーゲは、全て響きが「前に出るよう」! 「グ」は "mundia ua" 韶音。  
「ル」は「ル」で終わる。前回は「ル」で終わる。

逆: Passai フーゲは、(あまり言い過ぎでない) "ル" です。

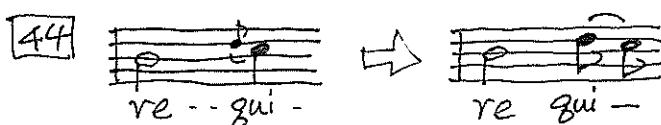
"dona eis requiem" (2. 韶の形は動かさず: 言うよう) L2H2!  
eis requiem a S+R. In a major  
中音から動く程度。

L12. [43] dona Sempiternam (2. 楽譜 a cresc. → f と L, o-11?)

\* 小さな音頭のみでない。V102L



\* 発音は 'gu' と 'ル' が混在。  
母音は 'ル' が 'ti' と混在。  
J1. 1番目 'qui' が言える。  
2番めは 'i' が 'au' 。



ここはモチロンモーツアルトの続編でスケヤード

作曲して2年後。10歳批評はあり得ない。ミズベヤード  
Requiem a 本戦を整えて4月20日公演。モーツアルト  
遺作は絶世の珍品となるべき。L12. 「神の小羊、世界を  
除むる主よ」と f2. 呼び出しだすと「アーヴィング」と。Passai と  
歌いこみ。愛する師を失、アンサンブルの精神を感ずる。